区分・種別	県指定有形文化財(石造物)		
名　　称	せきぞうほうきょういんとう 石造宝篋印塔　１基		
所　在　地	今治市玉川町桂		
所　有　者	宝蔵寺	管 理 団 体	
指定年月日	昭和32年12月14日		
解　　説	この塔は、宝蔵寺釈迦堂の裏にある釈迦ケ嶽の頂上部に建立されている。 花崗岩製で総高144cmと小型であるが、均整のとれた作品である。基礎には鎌倉様式の格狭間(こうざま)を彫り、塔身正面の月輪中には梵字(ぼんじ)の「キリーク」を刻んでいる。 基礎に彫られた格狭間の形態、笠に垂直な角突起等の製作技法からみると、鎌倉時代末期の作品といえよう。		